

**健康・生きがい就労関連
就労開発・支援事業****(担当：遠座)****9月の動き****就労開発・支援事業**

(各地の健康・生きがい就労トライアルの動き)

●大東市

9月13日大東市保健医療部高齢介護室介護保険グループを山本理事と訪問し、第2回健康・生きがい就労トライアルの進め方などを打合せしました。

市内の3事業者が求人を出すことを確認し、11月17日に市民向け募集説明会を市民会館で実施することなどが決まりました。

9月27日南郷の里（特別養護老人ホーム、デイサービスセンター）を中江副理事長と訪問し、就労トライアル事業について説明し、切り出す仕事や求人数についてのヒアリングを行いました。

9月29日サンサリテ大東（特別養護老人ホーム、デイサービスセンター）、りんく（デイサービスセンター）を中江副理事長と訪問し、事業説明とヒアリングを行いました。

サンサリテ大東の施設長から、サンサリテ三田でも人手不足で困っているのでも三田市でも就労トライアルを実施してほしいとの要望がありました。（今後、三田市役所へのアプローチを検討します）

●高槻市

9月15日高槻市第2回健康・生きがい就労トライアル5事業者向け説明会が市役所総合センター1401会議室にて行われ、就労トライアル事業内容の説明に中江副理事長、山本理事と出席しました。

高槻市から事業スケジュール、ハローワークから求人票の出し方、そして現在第1回モデル事業として先行して就労トライアルを実施している高槻荘から仕事の切出しや4名の高齢市民が3ヶ月トライアルにチャレンジしている状況などについて紹介がありました。

第2回目も参加される高槻荘のほか、高齢者福祉施設上牧の郷、特別養護老人ホーム高槻黄金の里、総合福祉施設れんげ荘の4事業者が参加されました。（都合により総合介護福祉施設 和朗園は欠席）

●尼崎市

9月22日（金）尼崎市役所総合政策局協働部協働推進課を山口事務局長と訪問しました。

ひょうごボランティア基金の助成金活用スマホサポーター養成講座を実施していただく自治体をソフトバンクCSR担当部長 門屋氏に相談し、尼崎市を紹介されての訪問でしたが、NPOの活動紹介をしたところスマホ講座より就労トライアルの方に興味を示され、殆ど費用がかからず、これまでより尼崎市の施策対象者が広げられるということで、トライアルの進め方や市として必要な費用、ハローワークが介在する必要性など詳細な質問がありました。

就労トライアルについては介護予防や就労部門との調整が必要なので庁内で検討したいが、スマホサポーター養成講座については、似たようなことを行なっている団体が尼崎市にも複数あり、ラボにお願いする場合は市外の団体に何故やってもらうかの説明が必要なので、スマホについては就労トライアルの（小仕事作り）枠の中で検討することになるとの話でした。

その他

●大阪府

9月1日 大阪府高齢者大学と大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会（同建物内）に、大阪・関西万博プレイイベント（今年実施の子ども向け・みらいのたまてばこ）へのシニア有償ボランティア募集説明のため、大阪ガスネットワーク（以下 OGNW と略）金澤部長、大阪府福祉部高齢介護室地域支援グループと一緒に訪問しました。大阪府高齢者大学や府シニアカレッジには修了後にボランティア活動などを積極的に行う「シルバー・アドバイザー養成講座」があり、修了すると大阪府はシルバーアドバイザーとして認定しますが、その活動機会もっと増やしたいとの府の意向があり、前記イベントの OGNW 社会貢献事業（有償ボランティア募集）を活用したいと今回の訪問になったものです。

●シルバー人材センター関連

9月14日（木）滋賀県甲賀市シルバー人材センターを OGNW 金澤部長、野村総研 NRI 社会情報システム小松前社長と訪問しました。（医療系 IT 会社 Arblet の清水代表もオンライン参加）

全国70万人の会員を擁するシルバー人材センターに対してその事務システムの7割のシェアをもつ NRI 情報システム、高齢者就労等活動マッチングアプリを共同開

健康・生きがい就労関連 就労開発・支援事業

(担当：遠座)

発した Arblet 社と一緒に、現在、何か貢献できることはないかと検討を進めています。今回の訪問は、小松氏、遠座も繋がりのある甲賀市シルバー人材センター平田理事長（前全国シルバー人材センター連合会理事、前滋賀県シルバー人材センター連合会会長）に、シルバー人材センターの課題等のヒアリングを行うためのものです。

甲賀市シルバー人材センター側から、DXを進めたいが人材不足で具体的な動きができない、請負から人材派遣のウエイトが徐々に高まっているが、シルバーは設立当時から既存労働市場を乱さないように臨時的かつ短期的かつ軽易な業務の枠がはめられているので、1人月10日（80時間）×3～4人で通常の1人分をシェアする形態をとっているなどのお話を聞くことができました。

今後、OGNW、Arblet、NRI社と共にシルバー人材センター業界に対し何が可能か、更に検討を進めていく予定です。

◎川西市

9月22日 総合政策部参画協働課から、市のDX等政策に沿った市民協働の進め方についてアドバイスが欲しいとの訪問を受けました。

スマホ講座は、スマホハードの多様性、高齢者それぞれへの対応が必要で簡単ではなく、ノウハウのある講師の他にサポーター（チューター）が必要などの説明を行いました。こちらから、健康・生きがい就労トライアル事業について、実施を提案したところ、ぜひ関係部署に紹介したいとの反応がありました。

◎宝塚市

9月25日 副委員長を委嘱されている市立老人福祉センター（フレミラ宝塚）運営委員会に出席しました。

来年度のいきいき学舎（シニアカレッジ）のスマホ講座内容に関する審議が行われ、iPhoneコースは応募者が少ないため廃止し、代わりにAndroidコースからかんたん・シンプルスマホ系に特化した初心者向けスマホ講座を独立させ実施することが決まりました。

10月の動き

- 6日（金）大阪府・大阪市万博推進局機運醸成部参加促進課訪問
- 11日（水）宝塚市老いも跳ね返す生きがいづくりセミナーで講演
宝塚市ボランティアプラザ zukavo 運営委員会
- 17日（火）全国市町村国際文化研修所プログラム「高齢者が活躍できる地域づくり～生きがいとしての社会参加～」で講義
- 23日（月）高槻市健康・生きがい就労トライアル市民向け募集説明会で講演
- 29日（日）応用老年学会第18回大会シンポジウム3「健康・生きがい就労トライアルの実践報告」に登壇

啓発・研修事業分野 (担当：山口) スマホ講座関連

*フレミラ宝塚

9月の「初心者向け暮らしに役立つスマホコース」2学期 iPhone（午前）、Android（午後）は9月7日、14日、21日に実施。7日「QRコードの読み取りとスクリーンショットについて」、14日「Google レンズと検索について」、21日「便利なアプリについて（地図アプリ）」。

実践的な内容は、暮らしに役立つと、受講生からは好評でした。

*ひょうごボランティア基金地域づくり活動事業

シニア向けスマホ講座の教材整備（標準化のための見直し）活動は、8月に引き続き、9月3日と10日に実施。9月末の検討を持って、一旦完了とし、フレミラ宝塚でのスマホ講座で試用を開始しています。

見直した教材データは、今後 Google ドライブにて共有・管理していきます。

10月以降に見直した教材を使用し、「スマホサポーター養成講座」を開催する兵庫県下の自治体については、川西市、伊丹市での開催が決まりました。

10月の動き

*フレミラ宝塚

- iPhone と Android 各コース「初心者向け暮らしに役立つスマホコース」は各クラス共10月5日、19日に開催します。
- ひょうごボランティア基金 地域づくり活動事業の「スマホサポーター養成講座」は、続けて川西市、伊丹市で詳細を打ち合わせし、実施に向け詳細を詰めていきます。

ここおる通信

ここおる 2023年10月イベントカレンダー Vol.15 10/27(水) 81

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	貸切		親子スペース 利用可			
8	9	10	11	12	13	14
			洋服お直し 相談会 13:00-15:00		ガーゼラウ ゼロン ①10:30-11:30 ②13:00-14:00	
15	16	17	18	19	20	21
	貸切 親子スペース 利用可	ネットカフェ 13:00-15:00	スマホサロン 13:00-14:00 身体体験会 10:30-12:00	健康チェック 福祉ネイル 10:30-12:00		
22	23	24	25	26	27	28
防災カフェ 10:30-12:00		女性のための やさしい 授業サロン 10:30-12:00	ちびっこ ここおる 13:00-13:30			読書Bar 16:00-
29	30	31				

●スマホカフェ

ここおるでは月1回スマホカフェを開催しています。お茶菓子、お茶つきでゆっくり相談してもらえます。先日、近所の80代女性から、洗剤をネットショップで買いたいというご相談がありました。ただ商品名がわからず困っていたところ、たまたまここおるに休憩しにきていた利用者さんが、私その洗剤使ってるよ！これじゃない？と助け舟を出してくれました。こんな光景もここおるならではの風景です。

無事、買い方もわかって、次からは自分でやってみるわね！と喜んで帰られました。居合わせた利用者さんは近所の施設で働く介護士さんでした。こんなに丁寧に対応してもらえるスマホ相談ってなかなかないですね。とお褒めの言葉をいただきました。(橋之爪)

●コミュニティコーピングゲームの体験

ここおるでは9/4(月)、コミュニティコーピングの体験研修が行われました。「コミュニティコーピング」とは、超高齢社会における「社会的孤立」という課題を解消するための協力型ゲームです。

最初、社協職員による説明を聞きながらのルール覚えがたいへんでしたが、徐々に慣れるにしたがって真剣勝負に。楽しいゲームではあるものの、リアル社会の問題点を切実に考えさせられ、解決するための意識高揚に役立つゲームでした。

(堀内)

